

## 国語科の課題への取り組みについて

これまでの課題は、授業の予習や、1・2年生での学習の復習を目的としたものでした。今後の課題は、これまでとは目的が異なり、皆さんが中学校に登校できないなかでも、授業に似た学習を進められることを狙いとしています。ぜひ意欲的に取り組んでください。

なお、本日(5月7日)、4月15日に回収した課題冊子を返却しました。こちらの冊子には、これから学習を進めていく文章の意味調べや、基礎知識の確認等が含まれています。自分で予習した内容を活用し、家庭学習を進めてみてください。

それでは、43期生の皆さんの頑張りに期待しています。

国語科 伊藤剛志

☆ この作品が伝えようとしていること（主題）をとらえよう

## 1 深まる学びへ 握手 井上ひさし

◎場面設定と指言葉の意味を確認しよう。

### Step 0

漢字のワーク（「漢字の学習 3」）に取り組む。

① P 2 - 3 に取り組む。書き順を意識し、丁寧に書く。

### Step 1

資料の板書画像をノートに書き写す。

①空欄等については、穴埋めをする部分があるので、板書の通りに書き写す。

### Step 2

場面設定を確認する。

①本文を読みながら、場面目～目の空欄に当てはまる漢字二字を考え、記入する。

②それぞれの空欄のヒントは以下の通り。

目…「さ」から始まる漢字二字

目…「か」から始まる漢字二字

目…「し」から始まる漢字二字

### Step 3

P 2 3・2 4にある、ルロイ修道士の「両手の人差し指をせわしく交差させ打ちつける」動作に込められた想いの違いを考える。

①同じ指言葉だが、込められている想いが異なることを確認し、ノートに記入する。

### Step 4

ワーク（「国語の学習 3」）の取り組めるところに取り組む。

☆ この作品が伝えていることと  
していることをとらえ  
よう。

握手 井上ひさし

◎場面設定と指言葉の  
意味を確認しよう。

○場面設定

日 P18 L11 S P18 L10

・ルロイ修道士との○○○

日 P18 L11 S P28 L3

・ルロイ修道士との○○○

日 P28 L3 S P28 L7

・ルロイ修道士の○○○

○四つの指言葉

・右の人さし指をぴんと立てる

↳注目しなさい

・右の親指をぴんと立てる

↳わかった

・両手の人さし指をせわしく

交差させ打ちつける

↳怒っている

・右の人さし指に中指をからめて

掲げる

↳幸運をいのる

○P23・24にあるルロイ修道士  
の指言葉に込められた想いの  
違い。

↓ P23

↓ P24

☆ この作品が伝えようとしていること（主題）をとらえよう

### 1 深まる学びへ 握手 井上ひさし

◎文末にある「わたし」の指言葉に込められた気持ちについて考えよう。

#### Step 0

漢字のワーク（「漢字の学習 3」）に取り組む。

① P 4 - 5 に取り組む。書き順を意識し、丁寧に書く。

#### Step 1

資料の板書画像をノートに書き写す。

①空欄等については、穴埋めをする部分があるので、板書の通りに書き写す。

#### Step 2

文末の「わたし」の指言葉に込められた怒りはどこに向けられたものなのか考える。

- ①「わたし」の怒りの対象について考える。
- ②考えをまとめて、ノートに記入する。
- ③できれば、3つの対象を考えて、ノートにまとめる。

#### Step 3

ワーク（「国語の学習 3」）の取り組めるところに取り組む。

◎文末にある「わたし」の指言葉に込められた気持ちについて考えよう。資料

☆ この作品が伝えようとして  
していることをとらえよう。

握手 井上ひさし

◎ 文末にある「わたし」の  
指言葉に込められた  
気持ちについて考えよう。

の P 28 L 6

「わたしは知らぬ間に、両手の  
人差し指を交差させ、せわしく  
打ちつけていた。」

↓ この指言葉の意味 **怒心**  
何に対する怒りなのか……

☆ この作品が伝えようとしていること（主題）をとらえよう

1 深まる学びへ 握手 井上ひさし

◎ルロイ氏の発言に注目し、人物像に迫ろう。

Step 0

漢字のワーク（「漢字の学習 3」）に取り組む。

① P 6 - 7 に取り組む。書き順を意識し、丁寧に書く。

Step 1

資料の板書画像をノートに書き写す。

①空欄等については、穴埋めをする部分があるので、板書の通りに書き写す。

Step 2

ルロイ修道士の人柄がよく表れている発言を探す。

①本文を読みながら、ルロイ氏の人物像が表れている発言を探し、教科書に線を引く。

②線を引いた発言を、ノートに書き写す。

Step 3

発言をもとにし、ルロイ修道士の人物像をまとめる。

①「～人。」という形式になるように、ルロイ修道士の人物像を考え、ノートに記入する。

Step 4

ワーク（「国語の学習 3」）の取り組めるところに取り組む。

◎ルロイ氏の発言に注目し、人物像に迫ろう。資料



この作品が伝えようとして  
していることをとらえ  
よう。

握手

井上ひさし

◎ルロイ氏の発言に注目し、  
人物像に迫ろう。

○ルロイ氏の人柄が、もっとも  
よく表れている発言。

P ( ) L ( )

7

L

○ここから読みとれるルロイ  
氏の人物像(5人)

↓

## ☆ この作品が伝えようとしていること（主題）をとらえよう

## 1 深まる学びへ 握手 井上ひさし

## ◎ 作品の主題をとらえよう。

## Step 0

漢字のワーク（「漢字の学習 3」）に取り組む。

- ① P 8 - 9 に取り組む。書き順を意識し、丁寧に書く。

## Step 1

資料の板書画像をノートに書き写す。

- ① 空欄等については、穴埋めをする部分があるので、板書の通りに書き写す。

## Step 2

作品の主題をとらえる。

- ① 本文を読み、主題について考える。  
② 整理し、ノートに記入する。

※ 書き方の例

私は、この作品の主題は、〇〇だと考えます。なぜなら、△△からです。以上から、この作品は、読者に□□を伝えようとしたものだと思います。（+感想）

## Step 4

ワーク（「国語の学習 3」）の取り組めるところに取り組む。

- ① 「握手」の内容については、すべて取り組めると思うので、しっかり記入しておく。  
② 解答・解説を参考にし、○付けもやっておく。



☆ この作品が伝えようとして  
していることをとらえよう。

握手 井上ひさし

◎ 作品の主題をとらえよう。  
○ 作品の主題

## ☆ 論語をもとに自分の考えを広げよう

## 1 深まる学びへ 学びて時にこれを習ふ 論語から

## ◎ 論語の基礎知識の確認をしよう。

## Step 0

漢字のワーク（「漢字の学習 3」）に取り組む。

- ① P 1 0 – 1 1 に取り組む。書き順を意識し、丁寧に書く。

## Step 1

論語の暗唱練習をする。

- ① 配布済みの暗唱練習プリントを活用し、声に出して、論語を読む。
  - ② 暗唱できるように、何度も練習する。
- ※暗唱練習プリントは、シートの最後に追加資料として付けてあるので、手元がない場合は、そちらを使う。

## Step 2

「論語」の基礎知識を確認する。

- ① ワーク（「国語の学習 3」）の P 1 7 に取り組む
- ② わからない部分についても、解答を確認しながら、記入しておく。

## ☆ 論語をもとに自分の考えを広げよう

## 1 深まる学びへ 学んで時にこれを習ふ 論語から

◎ 論語の内容をもとに、「学」と「思」、どちらが重要か考えよう。

## Step 0

漢字のワーク（「漢字の学習 3」）に取り組む。

① P 1 2 – 1 3 に取り組む。書き順を意識し、丁寧に書く。

## Step 1

論語の暗唱練習をする。

① 配布済みの暗唱練習プリントを活用し、声に出して、論語を読む。

② 暗唱できるように、何度も練習する。

※ 暗唱練習プリントは、シートの最後に追加資料として付けてあるので、手元にない場合は、そちらを使う。

## Step 2

資料のワークシートに沿い、「学」と「思」、どちらが重要か考える。

① 例を参考にし、「学」と「思」のどちらが重要か考える。

例 A君は、サッカー部に所属している。とても練習熱心だ。だが、自分で考えた練習方法にこだわりすぎて、監督や仲間からのアドバイスを受け入れることができない。その結果、なかなか上達できずにいる。

だから「学ぶこと」が重要だと言える。

例 テストのために、日本史の年号を必死に覚えた。「710年、平城京」などである。しかし、年号を覚えただけで、平城京とは何か、なぜそれが起こったのか、その前後での変化は何か、関わった人物が誰かなどについては、一切理解することができていなかった。そのため、結局は、その知識はまったく活用ができず、テストが終わってからは、意味のないものとなってしまった。

だから「思うこと」が重要だと言える。

② 意見をまとめ、ワークシートに記入する。（ワークシートの印刷が難しければ、ノートに記入する。）※ 自分の立場・根拠（体験含む）を必ず記入する。

## Step 3

ワーク（「国語の学習 3」）の取り組めるところに取り組む。

① 「論語」の内容については、すべて取り組めると思うので、しっかり記入しておく。

② 解答・解説を参考にし、○付けもやっておく。

☆論語をもとに自分の考えを深めよう。

「学びて時にこれを習ふ」「論語」から「

◎論語の内容をもとに、「学」と「思」、どちらが重要か考えよう。

学○・思× 「あやふや」

学×・思○ 「危険」

例 テストのために、日本史の年号を必死に覚えた。「710年、平城京」などである。しかし、年号を覚えただけで、平城京とは何か、なぜそれが起こったのか、その前後での変化は何か、関わった人物が誰かなどについては、一切理解することができていなかった。そのため、結局は、その知識はまったく活用ができず、テストが終わってからは、意味のないものとなってしまった。  
だから「思うこと」が重要だと言える。

例 私の兄は、高校でハンドボール部に所属している。とても練習熱心だ。だが、自分で考えた練習方法にこだわりすぎて、監督や仲間からのアドバイスを受け入れることができない。その結果、なかなか上達できずにいる。  
だから「学ぶこと」が重要だと言える。

○「学」と「思」どちらが大切か、自分の考えを書こう。※自分の立場・根拠（体験含む）を必ず記入しよう。

--

今年度、取り組む予定の暗唱課題をまとめました。こちらは、十五日(水)の提出は不要です。授業が再開したら、どんどん進めていきます。各自、取り組んでおいてください。

① 学びて時にこれを習ふ「論語」

A 子曰はく、「学びて時にこれを習ふ、また説ばしからずや。朋遠方より来たるあり、また楽しからずや。人知らずして慍みず、また君子ならずや。」と。

B 子曰はく、「故きを温めて新しきを知れば、もつて師たるべし。」と。

C 子曰はく、「学びて思はざれば則ち罔し。思ひて学ばざれば則ち殆し。」と。

D 子曰はく、「これを知る者は、これを好む者に如かず。これを好む者は、これを楽しむ者に如かず。」と。

② 「古今和歌集 仮名序」

A やまとうたは、人の心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける。  
世の中にある人、ことわざ繁きものなれば、心に思ふことを、見るもの、聞くものにつけて、言ひ出せるなり。

B 花に鳴く鶯、水にすむ蛙の声を聞けば、生きとし生けるもの、いづれか歌をよまざりける。

C 力をも入れずして、天地を動かし、目に見えぬ鬼神をも、あはれと思はせ、男女のなかをも和らげ、猛き武士の心をも、慰むるは歌なり。

③ 「おくの細道 漂泊の思ひ」

A 月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。舟の上に生涯を浮かべ、馬の口とらへて老いを迎ふる者は、日々旅にして旅をすみかとす。古人も多く旅に死せるあり。

よもいづれの年よりか、片雲の風にさそはれて、漂泊の思ひやます、海浜にさすらへて、去年の秋、江上の破屋に蜘蛛の古巣をはらひて、やや年も暮れ、春立てる霞の空に、白河の関越えむと、

そぞろ神の物につきて心をくるはせ、道祖神の招きにあひて、取るものにつかず、股引の破れをつづり、笠の緒付けかへて、三里に灸すゆるより、松島の月まづ心にかかりて、住めるかたは人に譲りて、杉風が別墅に移るに、

草の戸も住み替はる代ぞ難の家  
面八句を庵の柱に懸け置く。

④「おくの細道 平泉」

三代の榮耀一睡のうちにして、大門の跡は一里こなたにあり。秀衡が跡は田野になりて、金鶏山のみ形を残す。まづ、高館に登れば、北上川南部より流るる大河なり。衣川は、和泉が城をめぐりて、高館の下にて大河に落ち入る。

秦衡らが旧跡は、衣が関を隔てて南部口をさし固め、夷を防ぐと見えたり。さても義臣すぐつてこの城に籠もり、功名一時の草むらとなる。「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」と笠打ち敷きて、時のうつるまで涙を落としはべりぬ。

夏草や兵どもが夢の跡  
卯の花に兼房見ゆる白毛かな  
曾良

かねて耳驚かしたる二堂開帳す。経堂は三将の像を残し、光堂は三代の棺を納め、三尊の仏を安置す。七宝散り失せて、玉の扉風に破れ、金の柱霜雪に朽ちて、既に頽廢空虚の草むらとなるべきを、四面新たに囲みて、聲を覆ひて風雨を凌ぎ、しばらく千歳の記念とはなれり。  
五月雨の降り残してや光堂